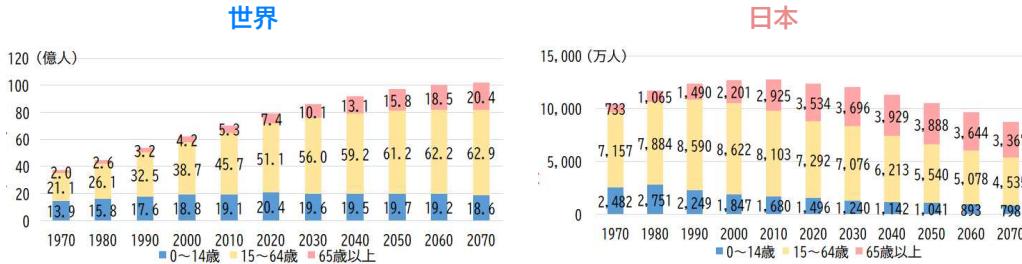


静岡県観光基本計画の概要

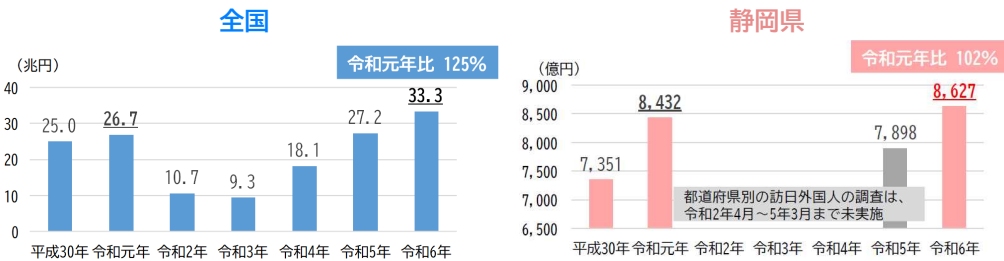
現状・課題

- 日本人の総人口が減少する中、65歳以上の高齢者は2040年まで増加が継続する。一方、世界の人口は2080年頃まで増加すると推計されている。
- 訪日外国人宿泊者数及び旅行消費額が全国に比べて伸び悩んでおり、成長市場であるインバウンドの取り込みや、縮小が見込まれる国内市場への対応を図る必要がある。
- 旅行者の受け皿となる宿泊産業は、全国に比べて客室稼働率が低く、人手不足・低賃金が課題であり、生産性の向上が急務である。

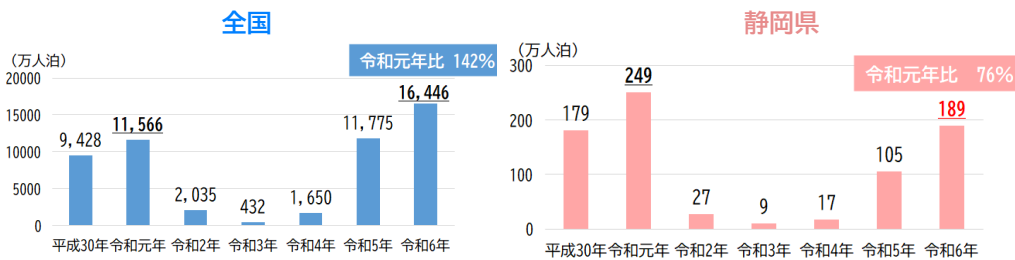
人口推移・推計



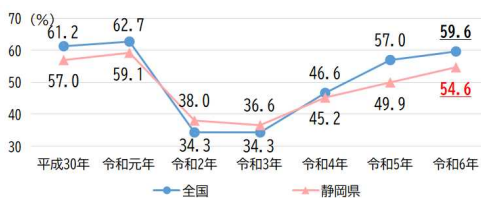
旅行消費額（日本人+訪日外国人）



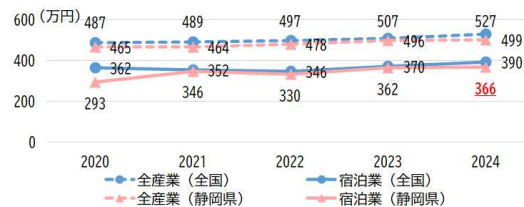
訪日外国人 延べ宿泊者数



客室稼働率



賃金（年間賃金総支給額）



基本理念

『バリューアップ!! しずおか旅』

地域間競争に打ち勝つため、高付加価値旅行の推進、観光産業の基盤強化を通じて、**しずおか観光の価値向上（バリューアップ）**を図り、地域・住民、事業者、訪れる人の誰もが幸せを感じられるウェルビーイングの視点で観光地域づくりを進める。あわせて、持続的な観光振興のため、**宿泊税**など新たな財源の検討を進める。

施策展開

基本理念の実現に向け、海外・国内の市場ごとに、**本県の特徴を最大限に生かした重点戦略**と、観光振興施策全体の行動指針となる**2つの基本方針**を掲げ、施策を展開する。

重点戦略

海外 「富士山といえば、しずおか」戦略
 「富士山」をしずおか旅のコアバリューとし、「日本＝富士山＝しずおか」の普遍化を目指す
 「富士山」と独自コンテンツとの掛け合わせ（ゴルフ、お茶、食、クルーズ船）など

国内 「あなたの“推し”に会える、しずおか」戦略
 “推し活”の拠点を目指し、推し活ツールズを推進
 アニメ、ロケ等、ニーズの高い新たなコンテンツの活用による誘客及び消費拡大など

基本方針

基本方針1 高付加価値旅行の推進

- 地域資源を活用した質の高い観光コンテンツの創出
 - 高付加価値コンテンツへの磨き上げ
 - 旅行会社や交通事業者と連携した周遊促進
- 戦略的なプロモーションの展開
 - デジタルマーケティングに基づく情報発信
 - 旅行会社等を通じたマーケットへのアプローチ
- インバウンドの拡大
 - 欧米豪などの富裕層市場開拓に向けた取組の加速化
 - スタートアップの知見の活用や広域連携による誘客の強化
 - 空・海の玄関口の活用

基本方針2 観光産業の基盤強化

- 来訪者の受入環境の充実
 - 富裕層や高齢者等のニーズに合わせた質の高いサービスの提供
 - 観光地の面的なりノベーション・高付加価値化
 - 旅行者の安全・安心の確保
 - 多様な交通アクセスの充実
- 観光事業者の活性化
 - イノベーションによる新たな観光サービスの創出
 - 事業者の生産性向上や経営の効率化の促進
 - 観光人材の確保・育成
- 観光地域づくり推進体制の強化
 - 観光デジタル情報プラットフォームの活用
 - 市町・DMO・事業者・県民との連携強化
 - 観光需要の平準化の促進

成果指標

成果指標	2024 (基準値)	2028 (目標値)	成果指標	2024 (基準値)	2028 (目標値)
県内旅行消費額	8,627億円	1兆1,000億円	日本人宿泊者数	2,111万人泊	2,300万人泊
本県旅行に対する総合満足度	95.7%	97.0%	外国人宿泊者数	249万人泊 ※基準値は2019年(過去最高)	400万人泊
日本人旅行消費単価	2.84万円	3.3万円	観光レクリエーション客数 (観光施設やイベントの入込客数)	1億2,083万人	1億3,000万人
外国人旅行消費単価	5.37万円	6.7万円			